

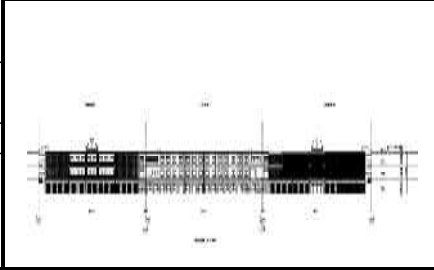
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	児童自立支援拠点(仮称)新築工事	階数	地上3F
建設地	平塚市片岡字台畑919番1 外3筆	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域,準防火地域	平均居住人員	300 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2015年2月8日
敷地面積	20,366 m ²	作成者	株式会社 国設計
建築面積	4,498 m ²	確認日	
延床面積	9,025 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト

参照値 100%
 建築物の取組み 95%
 上記+ 以外の 95%
 上記+ 95%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
接道部には可能な限り緑地を配置し、周辺の景観に配慮した。 外皮に断熱施工することにより建物の熱負荷低減に配慮した。		
Q1 室内環境 内装仕上げ材、合板類、塗装剤、接着材はすべてF以上を使用する。	Q2 サービス性能 長寿命な部品・部材の採用。	Q3 室外環境(敷地内) 中庭、テラス等を採用し内部に開放的な空間を形成。既存樹木を採用し良好な景観を形成。
LR1 エネルギー 外皮に断熱施工をすることにより外部からの熱負荷を軽減している。高効率な個別空調システムとLED照明器具を採用し一次エネルギーの低減している。	LR2 資源・マテリアル 大便器、小便器、洗面器に節水器具を採用し節水に取り組む。	LR3 敷地外環境 屋外照明はグレアや上方への漏れ光の少ない器具を選定。広告物照明なし。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される